

練習問題解答：第 10 章 GDP に関連した概念

10-1

- (a) 学生 A 君が自分の家で使うためにパソコン（新品）を購入した：この場合は家計による財の購入ですから消費 C に含まれます（消費の中でも耐久財消費に分類されます）。家計による（新たに生産された）財の購入は住宅を除いては消費に分類されます。
- (b) 企業 B がオフィスで使うためにパソコン（新品）を購入した：この場合には企業の設備投資に分類されますので、投資 I に含まれます。
- (c) 学生 A 君がインターネットで企業 B の株式 100 万円分を購入した：この取引は新たに生産された財・サービスに関するものではないので、GDP 統計には含まれません。
- (d) 企業 C が新製品を売り出したが、売れ残った 1000 万円分を倉庫にしまった：企業の在庫が増加していますので、正の在庫投資として計上されます。したがって投資 I に含まれます。
- (e) 政府が 2 兆円かけて各地に高速道路を造った：公的投資に含まれますので、政府購入 G に分類されます。
- (f) 政府がこども手当 2 兆円をばらまいた：これは移転支出であって政府による財・サービスの購入ではありませんので、 G には含まれません。新たな財・サービスの生産を伴っていないのでこの支出は GDP 統計には現れてきません。

10-2

- (a) 穴埋め

総生産	総支出	消費	固定投資	在庫投資	政府購入	輸出	輸入
400	400	240	100	0	100	40	80

まず三面等価の原則より総生産＝総支出です。総生産が 400 なので総支出も 400 になります。次に、総支出の項目をすべて足し合わせたら 400 になるはずですが、

$$\text{消費} + \text{固定投資} + \text{在庫投資} + \text{政府購入} + \text{輸出} - \text{輸入} = 400$$
 になっていなくてはなりません。政府購入を G とおいてそれ以外の値を代入していくと、

$$240 + 100 + 0 + G + 40 - 80 = 400$$

が得られます。これを G について解くと、 $G = 100$ が得られます。

- (b) 固定投資＝設備投資＋住宅投資です。固定投資が 100、住宅投資が 40 なので、設備投資は 60 と求められます。
- (c) 政府購入＝政府消費＋公的投資です。政府購入が(a)より 100、政府消費が 60 ですから、公的投資は 40 と求められます。

(d) 純輸出＝輸出－輸入であり，輸出＝40，輸入＝80 ですから，純輸出は－40 になります。

(e) 総貯蓄＝総生産－消費－政府消費です。総生産＝400，消費＝240，政府消費＝60 ですから，引き算をすると総貯蓄＝100 が求められます。

10-3 まず名目 GDP を，その年の価格と生産量をかけて足し合わせて求めます。

2010 年は $200 \times 100 + 200 \times 100 = 40,000$

2011 年は $400 \times 150 + 120 \times 200 = 84,000$

実質 GDP は基準年(この場合は 2010 年)の価格と各年の生産量をかけて足し合わせて求めます。

2010 年は $200 \times 100 + 200 \times 100 = 40,000$ (名目 GDP と同じ)

2011 年は $200 \times 150 + 200 \times 200 = 70,000$

GDP デフレーターを求めるにはまず名目 GDP を実質 GDP で割ります。

2010 年は $40,000 \div 40,000 = 1$ です。通常は GDP デフレーターはこのようにして得られた値に 100 をかけて表示されるので，ここでもそれに従うことにしましょう。1 を 100 倍して 100 を得ます (この種の指数は基準年における値が 100 になります)。

2011 年は $84,000 \div 70,000 = 42 \div 35 = 1.2$ ，これを 100 倍して 120 を得ます。